(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和6年5月29日

西宮市長 殿

### 提出者

住所 西宮市高松町20-21 氏名 株式会社 松田組 代表取締役社長 松田 好生 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0798-67-4056

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西宮市管轄内の事業所
事業場の所在地	西宮市管轄区域内
計 画 期 間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
当該事業場において現に行っ	っている事業に関する事項
①事 業 の 種 類	06 総合建設業
②事 業 の 規 模	完成工事高 2,500百万円
③従 業 員 数	6 0 名
	別添1 処理工程図のとおり
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	
00000000000000000000000000000000000000	

(日本産業規格 A列4番)

			(2)	52回/	
産業	業廃棄物の処理に係る	5管理体制に	-関する事項		
	(管理体制図)				
	別添2 管理体制図	のとおり			
			—————————————————————————————————————		
産ョ	業廃棄物の排出の抑制 「	T		√-± ¥	
			(令和5年度)	T	T
		産業廃棄	乗物の種類	別紙集計表のとおり	_
		排	出量	5,604.1 t	t
	①現 <b>状</b>		に実施した		
		施工方法の	変更による	廃棄物の低減・材料搬入の	寺の梱包材の削減
		【目標】(名	今年度末の目	 引標値)	
		産業廃棄	医物の種類	別紙集計表のとおり	_
		排	出量	5,043.7 t	t
	②計画 ②計画	(今後実施	する予定の	<b>工</b> 取組)	
	( ) HI I	施工方法の	変更による	廃棄物の低減・材料搬入	時の梱包材の削減
産業	▲ 業廃棄物の分別に関す	<u> </u> 			
//	KDE2K 14 -2 24 74 (1-124 7	T	いろ産業廃	 棄物の種類及び分別に関 <sup>-</sup>	 ナろ取組)
		廃プラ・木	くず・廃石	膏ボード類・がれき類・	コンクリートガラ・金属
	①現状	くず・段ボ	ール・管理	型混合廃棄物・石綿含有疑	<b></b>
	(1)現状 				
		7. 7. 7. P.I.	• •		
		1 101 4 100 100 100 100 100 100		産業廃棄物の種類及び分別 膏ボード類・がれき類・3	
	*	スず・段ボ	ール・管理	型混合廃棄物・石綿含有類	建材
	②計画				
	п				

	JII J 压未优米的*/T	<b>写生利用に関する事項</b>	
		【前年度(令和5年度)実績】	
		産業廃棄物の種類	_
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t
	①現状	(これまでに実施した取組) 該当無し	
		【目標】(今年度末の目標値)	
	9	産業廃棄物の種類	_
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t
	②計画	(今後実施する予定の取組) 該当無し	
白色	<u> </u> 	┃ 中間処理に関する事項	
	511 ) EXCOUNT IN IS	【前年度(令和5年度)実績】	
=		産業廃棄物の種類	_
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t
	①現状	压 水 加 水 10 · 2 · 里	
	①現状	(これまでに実施した取組)	
	①現状		
	①現状	(これまでに実施した取組)	
	①現状	(これまでに実施した取組)	
	①現状	(これまでに実施した取組) 該当無し	
	①現状	(これまでに実施した取組) 該当無し 【目標】(今年度末の目標値)	— — t
		(これまでに実施した取組) 該当無し 【目標】(今年度末の目標値) 産業廃棄物の種類 – 自ら熱回収を行う –	
	①現状 ②計画	(これまでに実施した取組) 該当無し 【目標】(今年度末の目標値) 産業廃棄物の種類 ー 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	
		(これまでに実施した取組) 該当無し 【目標】(今年度末の目標値) 産業廃棄物の種類 ー 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 ー 1	
		(これまでに実施した取組) 該当無し 【目標】(今年度末の目標値) 産業廃棄物の種類 ー 自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	

自己	っ行う産業廃棄物の埋	里立処分又は海洋投入処分	た関する事項	
		【前年度(令和5年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	_	_
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	_	t t
	①現状	(これまでに実施した取	(組)	
		該当無し		
		【目標】(今年度末の目標		
		産業廃棄物の種類	_	_
	,	自ら埋立処分又は		
		海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量		t t
	②計画	(今後実施する予定の取	(組)	
		該当無し		
	w.	-		
产出	               	 		
		【前年度(令和5年度)	 実績】	
		産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	)
		全処理委託量	5, 604. 1	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	3, 819. 4	t t
		再生利用業者への	1, 866. 0	t t
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	61.9	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0	t
		(これまでに実施した取		P
		・委託基準に従って、産 を優先的に増やし、書面		る優良認定処理業者の選定 めて実施しています。
	ě			
				v

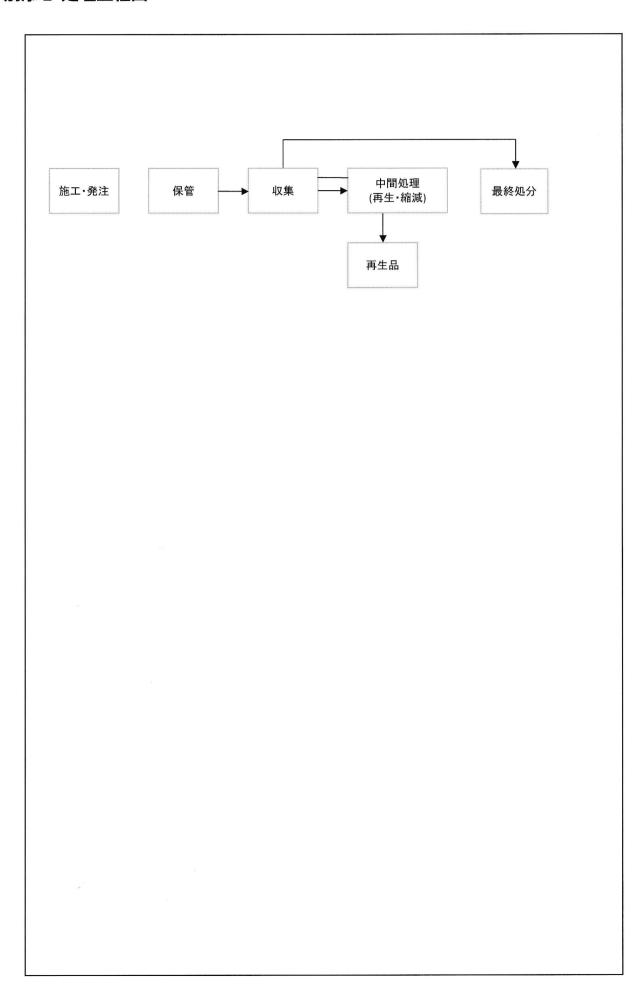
## (第5面)

×		7囲/	
	【目標】(今年度末の目標	漂値)	
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	5,043.7 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3,437.5 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,679.4 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	55.8 t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	0.0 t	t
	底を行います。 ・産業廃棄物委託業は優	子マニフェストの利用を 良認定処理業者を優先的 の良い業者の選定を行い	りに選定を行います。

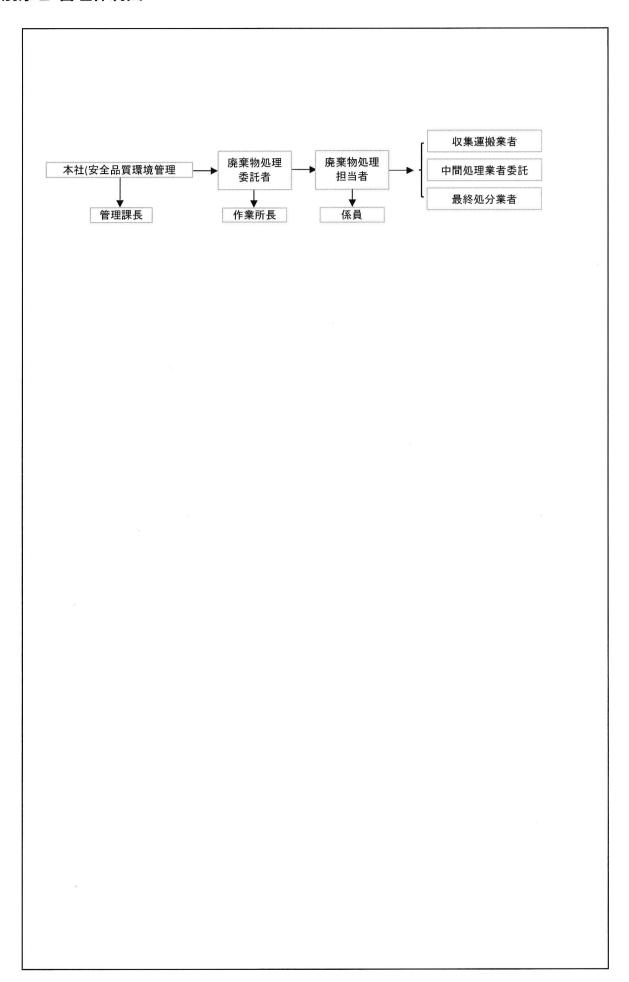
#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 別添1 処理工程図



# 別添2 管理体制図



産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和5年度)実績量 計画:今年度(令和6年度)計画量(目標)

単位:トン

	(A) (A)		画相	00.0	0.00	0.00	0.00	00.00	0.00	0.00	0.00	00.00	00.0	00.00	00.00										00.00
	認定熱回収業者以外の数回収業者の多額の	※ 日次を17.7×13、3、9、9、9、9、9、9、9、9、9、9、9、9、9、9、9、9、9、9				00	0	00		00	00	9	00.0	00.00	00.0										00.00
	認定熱回數可的多	処理	現状	00.00	0.00	0.00	0.00	00.0	00.00	0.00	0.00	00.0	0.0	0.0	0.0										
	業者への	託量	計画	00.0	0.16	0.95	36.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	18.25	0.00										55.75
	認定熱回収業者への	処理委	現状	0.00	0.18	1.05	40.43	0.00	0.00	0.00	0.00	00.00	0.00	20.28	00.00										61.94
罪			計画	1.98	0.00	17.49	279.39	2.59	06.0	5.81	1,228.14	87.30	42.43	13.34	00.00										1,679.37
処理の委託	再生利用業者への	D.理委計	現状	2.20	0.00	19.43	310.43	2.88	1.00	6.45	1,364.60 1,	97.00	47.14	14.82	00.00										1,865.95 1,
				00.00	0.16	2.84	49.84 3	00.00	06.0	5.81		5.25	42.43	30.89	15.44										3,437.46 1,8
	優良認定処理業者への	秦託量	計画								8 3,283.90														
	優良認定	00 理	現状	0.00	0.18	3.15	55.38	00.00	1.00	6.45	3,648.78	5.83	47.14	34.32	17.16										3,819.39
	光。	in H	計画	1.98	0.16	18.43	315.77	2.59	0.90	5.81	4,512.04	92.55	42.43	31.59	19.42										5,043.67
		五 % 压	現状	2.20	0.18	20.48	350.86	2.88	1.00	6.45	5,013.38	102.83	47.14	35.10	21.58										5,604.08
			計画	1	1	1	1	1	1	Ι	I	ı	T	I	I										0.00
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を 行った(行う)量		現状	T	ı	T	I	1	I	T	ī	1	ī	I	T										0.00
				ī	1	1	1	T	T	1	ī	1	1	1	1										00:
	自ら中間処理によりましょく	こ(する)]	厘温																						0
間処理	自ら中間	漫画 こ	現状	1									1												0.00
自ら行う中間処理	収を   100	三(CI	里坦	1	I	ı	Ι	1	I	T	T	1	I	I	Τ										0.00
	自ら熱回収を	行った(イ	現状	1	T	1	1	1	1	I	ı	I	1	1	I										0.00
	用を )量 (		国温	ı	1.	I	ī	1	I	1	1	1	I	1	1										00.00
A A I	自ら再生利用を 行った(行う)量			1	1	ī	1	1	1	T	I	1	1	1	T										0.00
	一一一		現状	8	9	8	7	6	0	-	4	2	3	6	2										
排出抑制	書 出	1	温温	1.98	0.16	18.43	315.77	2.59	06.0	5.81	4,512.04	92.55	42.43		19.42		III.								5,043.67
井田 排田	#	ī Š.	現状	2.20	0.18	20.48	350.86	2.88	1.00	6.45	5,013.38	102.83	47.14	35.10	21.58										5,604.08
	産業廃棄物の種類		1	汚泥	廃油	廃プラスチック類	**	繊維くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片	アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物(管理型)	石綿含有産業廃棄物										스타